



## 第29回ふくしま駅伝

13年連続入賞

**鏡石町チーム**  
総合タイム 5時間24分31秒  
総合第18位 町の部第6位



第29回ふくしま駅伝は11月19日(日)に開催され、合同チームを含めた53チーム(県内59市町村)が参加し、しらかわカタールスポーツパーク(白河市総合運動公園)をスタート、福島県庁をゴールに94.8kmを16人の選手がタスキをつなぎました。

鏡石町チームは、今年も選手とスタッフでチーム一丸となり、町の部第6位、総合第18位となりました。次回の大会に向けて、鏡石町チームの優勝へ向けた選手たちの挑戦はこれからも続きます。町民の皆さんの応援をよろしくお願いたします。



塚原健司選手(4区)と市川侑路選手(5区)のタスキリレー、新田勝士選手(12区)と今泉宏選手(13区)のタスキリレー、諸橋健司選手(3区)と塚原健司選手(4区)のタスキリレー、真船こころ選手(11区)

## 10 鏡石駅伝・ロードレース大会 年ぶりに駅伝の部優勝!



オリンピック出場経験者も駆けつけ、一緒に走りました



駅伝の部第1部で優勝した鏡石町チームの皆さん

11月5日(日)鳥見山陸上競技場を会場に、第12回鏡石駅伝・ロードレース大会が開催され、町内外からの2,005人のランナーが秋の鏡石町を駆け抜けました。

開会式では、特別賞として上澤勝男さん(77歳)に最高齢者賞が贈られ、大橋蒼汰さん(鏡石中3年)と佐藤有珠さん(鏡石中3年)が選手宣誓し、競技がスタートしました。

駅伝競走の部では、今回から年齢、性別フリーの3区間からなる第2部が新設され、予定していた10チームを大きく超える17チームが参加し、駅伝競走の醍醐味である「タスキリレー」を楽しんでいました。また、第1部では、鏡石町駅伝チームが第2回大会以来10年ぶりの優勝を果たしました。

天候にも恵まれ、ランナーはそれぞれの自己ベストを目指して競技に臨んでいました。



## 冬支度を 水道管にも

冷え込みが一段と厳しい季節を迎えます。水道管が凍結し、水道管の破裂やメーターの破損が起きやすい時期です。凍結防止を心がけましょう。

**凍りやすい水道管には 防寒対策を**

屋外、北向きで日が当たらない場所、風当たりの強いところ、むき出しになつていたりところなどは特に注意が必要です。凍結しやすい場所には、保温材料を取り付けるなど早めの防寒準備をしましょう。

**水道の凍結を防ぐには**

- ・水道管や蛇口の部分に身近にある布切れや使い古しの毛布などを巻きつけ、ぬれないように保温する。
- ・保温材料や電熱式凍結防止器を取り付ける。
- ・水道管の水抜きをする。

**もしも、凍ってしまったら**

自然にとけるのを待つか、凍った部分にタオルなどをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。

急に熱湯をかけると水道管や蛇口がひび割れ、破裂することがありますので注意しましょう。

**水道管が破裂したときは**

慌てずに水抜き栓で水を止め、町指定給水装置



- 【町上水道組合】
- (株)東北デバイス工業 ☎62-2741
  - 久保設備工業(株)鏡石営業所 ☎62-5452
  - (有)水橋商会 ☎62-7830
  - (有)佐藤工業 ☎62-6070
  - (有)清野設備 ☎62-3070
  - (有)ナカヌマ ☎62-13328
  - (有)大河原設備 ☎62-6443
- ▼問い合わせ先 上下水道課
- ☎62-2348
  - ☎62-2119
- 工事業者に修理を依頼してください。
- ※普段から水抜き栓の場所と動作を確認しておきましょう。

## 「第37回全国中学生人権作文コンテスト」福島県大会

11月22日(木)郡山市の郡山第一中学校で、「第37回全国中学生人権作文コンテスト」福島県大会の表彰式が行われました。当町からは菊地真央さん(鏡石中学校1年)の「大切な言葉」が福島民友新聞社賞を受賞しました。このコンテストは、毎年12月4日から10日までの「人権週間」の啓発活動の一環として、昭和56年度より「人権問題」をテーマに全国の中学生を対象に実施されているものです。

菊地さんは「学校生活で悪口がなくなること願って書きました。先生の話した『心の傷は誰にも見えない』という言葉がとても印象に残っています。自分の気持ちが伝わって嬉しいです。」と振り返りました。



【福島民友新聞社賞】 鏡石中学校1年 菊地真央さん「大切な言葉」